



在宅医療・介護連携を「輪」でつなぐ・・・

WAO!通信

【発行元】
 泉佐野泉南医師会 地域連携室
 〒598-0063 泉佐野市湊1-1-30
 ☎ 072-464-6123 FAX 072-464-6133
 E-mail renkei@sano.osaka.med.or.jp
 URL http://www.sano.osaka.med.or.jp

わ・リレーコラム

第34走者



医師

上田 量也 先生

上仁上田クリニック
 【泉佐野市】

皆様、こんにちは。泉佐野泉南医師会の上田量也（うえだかずや）です。
 南海泉佐野駅から徒歩5分、泉佐野センタービルの南側100m程の位置で、
 上仁上田クリニックを開業しています。私は糖尿病専門医で内科を、家内は皮膚
 科専門医で皮膚科の診療を行っています。開業して、はや11年目を迎えています。
 日常診療では高齢糖尿病患者さんが増加しています。かかりつけの糖尿病患者
 さんも80歳以上が増え、家族さんと来院されるケースも増えてきております。高
 齢糖尿病患者さんの血糖コントロール目標は患者さんの認知機能やADLによっ
 て3つのカテゴリーに分けて設定しますが、この度、日本老年病学会は、DASC-8
 （認知・生活機能質問票）を用いた高齢者の血糖コントロール目標設定のため
 のカテゴリー分類の仕方を考案してくれました。これまで、何となく身体機能や既往
 歴などで判断してましたが、より客観的な指標で判断できるようになりました。
 （日本老年病学会ホームページ「高齢者医療におけるお役立ちツールより」）
 地域のご高齢患者さん、かかりつけ患者さんが、W忘れても、A安心して、O
 穏やかに地域で暮らせるよう、私も微力ながら貢献したいと思っております。
 地域のご高齢患者さん、かかりつけ患者さんが困らない医療環境-介護環境連携
 の充実を願っています。

認知症への取り組み

当医師会では、行政、地域包括支援センターや認知症地域推進員などと連携し、認知症施策に取り組んでおります。
 地域の要望に応じた内容の講演会の開催や認知症カフェへの参加など、多職種の皆様と協力しながら進めていきたいと
 考えております。また、住民の方々に認知症のことをより知っていただけるように、多職種の皆様と一緒に地域へ出向き、啓
 発活動を進めていきたいと考えております。そうすることで住民の方々の認知症に対する理解と支援がますます深まると考
 えております。今後も皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

今月のWAO!さん

認知症地域支援推進員

【阪南市】

富中 稔生 さん 阪南市尾崎・東鳥取地域包括支援センター



阪南市の認知症キャラバン活動は、認知症サポーター養成講座の開催だ
 けでなく、メイトが1~2ヶ月に1度会合し、地域の支えあいネットワーク作り
 にむけた企画・立案を行っています。昨年は大規模な台風の被災を受け、日
 常における住民のつながりが、いざという時の助け合いにつながることを痛感。
 その関係作りをめざして、とあるマンションで交流イベントやミニ講座等の開催
 を、メイトが主体となって企画しました。

この6月より前任の田口から認知症地域支援推進員を引き継ぎ担当さ
 せていただきました。これまでの想いや関係性を引き継ぎさせていただきながら、
 認知症になっても、災害があっても、支えあいができるまち阪南市を目指し、
 取り組んで参りたいと思います。

在宅医療・介護連携相談窓口

☎ 072-464-6123

泉佐野泉南医師会 地域連携
 室では、医療・介護関係者のた
 めの相談窓口を開設しています。
 関係機関と連携し、地域の在
 宅医療・介護サービスに係る情
 報提供、相談対応、連絡調整
 などを行います。

■受付時間
 月-金 午前9時から午後5時
 （祝祭日除く）